

事務事業名	健康づくりフェア開催事業		所属部局	保健福祉部		単位番号	5218				
			所属課室	健康増進課		課長名	櫻田正文				
			所属担当	健康づくり担当		担当者名	塩澤秀子				
基本政策	基本計画体系	IV	快適で心のかよいあう都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目
		18	健康づくりの推進		01	一般	0	4	0	1	0
政策		31	保健・医療の推進	事業区分	☐ 国の制度による義務的事業 ☐ 施設等維持管理事業 ☐ 県の制度による義務的事業 ☐ 補助金交付事業 ☐ 市の制度による義務的事業 ☒ その他の事業 ☐ 義務化されている協議会等の負担金						
施策											
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 15 年度)		法令根拠	事業費の主な内訳 (22年度)							
	☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)										
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 市と健康関連団体により実行委員会を構成し、関係団体の特色ある健康への取り組みを市民に公開し、体験をしていただくことにより、市民に健康についての理解を深め家庭地域で実践するきっかけとし、健康市民の増加に寄与する。 ①実行委員会の実施②開催内容決定③会場予約④講師等依頼⑤共催者との連絡調整⑥会場の設営準備⑦フェアの開催			項目(細節) 金額(千円) 項目(細節) 金額(千円)							
				報償費 172							
				需用費 167							
				委託料 159							
				使用料及び賃借料 329							
				計 827							

1 現状把握 (DO)

① 事務事業の目的と指標

① 活動	
22年度活動実績	平成22年10月30日(土)桃源文化会館において、午前中関係団体の活動発表、虫歯のない子表彰、運動教室等を実施。
23年度活動予定	平成23年10月29日(土) 桃源文化会館において実施予定。開催する場合は、実行委員会において開催内容決定。
② 対象 (この事務事業は誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	
市民・健康関連団体	
③ 意図 (この事務事業により対象をどのような状態にしていのか、どのように変えるのか)	
フェアに参加し、フェアで得た情報を家庭・地域において実践する。健康に対する認識を深める。関係団体の実践する活動に参加する。	
④ 上位目的 (どのような結果に結び付けるのか)	
市民の健康増進。	

⑤ 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
参加団体	個
参加人数(来場者数)	人
⑥ 対象指標 (対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
人口	人
団体数	個
⑦ 成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
健康に関心を持った参加者の割合	%
ためになった(健康づくりのきっかけになった)と答えた市民の割合	%
⑧ 上位成果指標 (結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
健康づくりを実践している市民の割合	%

(2) 事業費・指標の推移			単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終 (トータルコスト・目標)	年度
年間 トータル コスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							
		県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円	1,149	826	1,105	0				
		事業費計 (A)	千円	1,149	826	1,105	0	0	0	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1					
		延べ業務時間	時間	500	250	250					
		人件費計 (B)	千円	2,231	1,115	991	0	0	0	0	
		(A)+(B)	千円	3,380	1,941	2,096	0	0	0	0	
活動指標		ア	個	13.0	5.0	5.0					
		イ	人	430.0	600.0	800.0					
対象指標		ア	人	72,669.0	73,014.0	72,854.0					
		イ	個	13.0	5.0	5.0					
成果指標		ア	%	31.0	49.0	80.0					
		イ	%	49.0	50.0	80.0					
上位成果指標		ア	%								
		イ									

(3) この事務事業を取り巻く状況 (対象者・社会状況等) の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	平成15年6町村が合併し、合併初年度は、各地区(旧町村単位)で支所が事業主体となり開催、平成16年度より市内健康関連団体を実行委員会として、健康増進課が事務局になり開催。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	開催当初より毎年度実行委員会、共催団体のお祭りになっており、一般市民の参加が少なく、参加者数は、知名度のある講師の講演会を実施しても増加しない、一般市民も虫歯のない子の表彰を実施しているので、表彰者とその保護者が大きな割合を占めている。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	関係者のお祭りになっているという認識はあるが、自分達の活動発表の場であることから、存続を望む声が聞かれる。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	☒ 取り組みしている ⇒ [内容↓] ☐ 取り組みしていない ⇒ [理由↓]
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過 (取り組みしていない場合はその理由)	平成20年度までは、同じような内容で、午前中活動発表、午後講演会を実施。大きな改善は見られない。平成21年は、芦安地区での開催だったので、芦安地区の自然を生かしウォーキングを実施。健康運動教室も開催した。ウォーキングの参加者は、期待どおりだったが、他の参加者は少なかった。
③ H 22年度に実施した改革改善の内容	21年度なみで開催し、午後の講演会もフェアとしては実施しなかった。(県の補助金関係の講演会を実施したが、相変わらず参加者は少なかった。) 虫歯のない子の表彰、親子運動教室を実施。関係者による集客はできた。

事務事業名	健康づくりフェア開催事業	所属部	保健福祉部	所属課	健康増進課
-------	--------------	-----	-------	-----	-------

2 評価 (Check1) 担当者による事後評価 (複数年年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	☒ 結びついていない (見直し余地がある) ⇒ [理由 ↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 結びついている ⇒ [理由 ↓] 一般市民の参加が少なく、関係団体のイベントになっている。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？民間やNPOに委ねることは可能か？	☒ 見直し余地がある ⇒ [理由 ↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 妥当である ⇒ [理由 ↓] 健康関連団体が各地域で、事業を実施している。市民は、自ら健康に関する情報が入手できる時代である。市民の参加が少ないイベントにわざわざ公費を投入しフェアを開催する意味があるか疑問である。市民に向けての健康関連情報提供等は、イベントではなくても各種健診、健康教室、各種団体支援等により取り組み、イベントより効果はある。
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☒ 見直し余地がある ⇒ [理由 ↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 適切である ⇒ [理由 ↓] 継続することは妥当ではない。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☐ 向上余地がある ⇒ [理由 ↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 向上余地がない ⇒ [理由 ↓] 健康を目的としたフェアとして開催内容を変更しても、健康に関心を持ち参加する市民は増加する見込みはないと思われる。市民が求めている内容のイベントではない。
	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	☐ 類似事務事業がある ⇒ (類似する事務事業の名称を記入 ↓) ☐ 統合・連携ができる ⇒ [理由と具体案 ↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 統合・連携ができない ⇒ [理由 ↓] ☒ 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☒ 影響あり ⇒ [理由と影響の内容 ↓] ☒ 休止・廃止ができる ☐ 休止・廃止できない ⇒ [理由 ↓]
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費 (コスト) を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒ [理由・具体案 ↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒ [理由 ↓] 現状が、妥当と思われる。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？ (事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☒ 削減余地がある ⇒ [理由・具体案 ↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 削減余地がない ⇒ [理由 ↓] 毎年度1名 (リーダー) が実行委員会後フェアの開催に係りにならざるおえない状況。他の健診事業など携わるべきことある。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☒ 見直し余地がある ⇒ [理由・具体案 ↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 公平・公正である ⇒ [理由 ↓] 関係団体のフェアになっている。市民は虫歯のない子の表彰者が主な参加者。

3 評価 (Check2) 担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括 (事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ② 有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ③ 効率性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ④ 公平性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり	開催当時より関係者のイベントになっており、毎年工夫を凝らし、市民の参加を呼びかけるが、市民の参加は少なく、意図、上位目的が達せられるイベントではない。各地区で健康関連団体が、地域の特色をいかした健康づくり事業をしており、他の部署でも健康関連の事業を開催している、財源を投入し、人件費をかけ、イベントを開催する必要性がない。市民が、必要としていないイベントと考えられる。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性 (Check1の結果から定める)・・・複数選択可		(3) 改革・改善による方向性																						
☒ 廃止 (目的妥当性①、②、③の結果) ☒ 事業統合・連携 (有効性⑤の結果) ☐ 公平性改善 (公平性⑨の結果) ☐ 休止 (目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 成果向上 (有効性④の結果) ☐ 現状維持 (全評価項目で適切) ☒ 必要性検討 (目的妥当性①、②、③の結果) ☐ コスト削減 (効率性⑦、⑧の結果)		<table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト水準</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果水準</th><th>向上</th><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><th>維持</th><td>☐</td><td>☐</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td>☐</td><td></td><td></td></tr></table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要				コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☐	☐	維持	☐	☐		低下	☐		
		コスト水準																						
		削減	維持	増加																				
成果水準	向上	☐	☐	☐																				
	維持	☐	☐																					
	低下	☐																						
(2) 改革改善案について																								
①																								
②																								
③																								
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策		(5) 事務事業優先度評価結果																						
①		成果優先度評価結果	⑧																					
②																								
③		コスト削減優先度評価結果	⑥																					